# 令和３年度　学校運営等に関する評価書

| 学校名 | 和歌山市立　鳴滝小学校 |
|---|---|
| 作成日 | 令和　4年　3月　1日 |

1　教育目標

豊かな感性をもって、たくましく生きる児童の育成

2　学校自己評価についてのご意見

| | 確かな学力の向上 | 豊かな心の育成 | 健やかな体の育成 | 地域とともにある学校 |
|---|---|---|---|---|
| 指標 | ○基礎・基本の確かな定着<br>◎考えをもち学び合う授業の推進<br>○家庭学習の推進<br>○読書活動の推進 | ◎道徳・人権教育の推進<br>◎いじめの未然防止、早期発見<br>○仲間づくりの推進 | ◎体力向上の推進<br>◎基本的生活習慣の確立<br>○危機回避能力の育成 | ◎学校・家庭・地域との連携充実<br>○幼保小の接続、小中連携の推進<br>○地域の資源活用の推進 |
| 重点目標に対する意見 | ・基礎学力の充実は、これから多くを学ぶすべての基盤となるところ、しっかりと身につけてほしい。<br>・他校の授業を見て、先生方の技術を高めていただけるのはとても良い。<br>・読書活動は、全ての科目の基礎学力を高めると思うので、推進してほしい。 | ・心が育つ大切な6年間だと思います。他人を思いやる気持ちを持ち、人に対して、物に対しても丁寧に接する子になってほしい。<br>・相手の立場に立ち、物事を考え、思いやりのある子どもに育ってほしい | ・生命、安全の確保と自分を守る力の習得はとても大事です。「自分の命は自分で守る」しっかり根強く児童自身が意識を持てるようになってほしいです。 | ・学校・家庭・地域の連携が取れることで、信頼関係が強い結びつきが生まれ、地域で子どもたちを守ることができる、そんな関係を築いてほしい。 |
| 取組状況に対する意見 | ・自主的な学習というのはなかなか難しく、学校が工夫を重ね、あの手この手で座る時間、考える機会を増やし与えている状況。それを本物の力に変えていくには根気を要することだと思う。<br>・取り組みの内容などはとても良いと思うが、その取り組みの中で特に「家読」はできているかは疑問に思う。読書定着を持続していただきたい。 | ・地域の方々との交流やファミリー活動を通じてうまく引き継がれてよいと思います。<br>・・思春期に入ってくる中学年、高学年の児童間で行動や意見、趣味の同調から、グループ分けになりがちなところ、楽しむだけでなく時には対立も起こってくるので、児童間での解決の仕方を見守ると同時に未熟面にはケアとサポートをお願いしたい。 | ・生活調べはとても良いと思います。なぜ早く寝ると良いか、早起きする事、朝ごはんを食べるとどう身体によいのか、はみがき、洗顔等清潔にする大切さ、習慣を親子でもしっかり定着できるよう取り組んでいただきたい。<br>・基本的な生活習慣の確立のため、生活調べは重要だと思います。さらに回数を増やして取り組んでいただきたい。<br>・ハンカチ、ティッシュ、常備、身だしなみを整え、コロナ禍においてのマスクの正しい着用の推進 | ・「学校だより」等の配布により情報発信していただけるので、学校の取組等、地域の方々も知れてよいし、有難いです。 |
| 取組の適切さの検証結果に対する意見 | ・家庭での自主学習の重要性、読書をする事で身につく語彙力、読解力の必要性を各家庭にしっかりと伝えていかないと、浸透していかない。なぶり書きや適当にやりこなすのではなく、落ち着いた丁寧さ正確さも求めてほしいところである。 | ・ファミリー活動は、異年齢交流が図れ仲間意識が高まるので良いことだと思う。<br>・鳴滝ならではの取組や地域の方々の支えもあり、今後も「豊かな心」の育成に力を入れていただきたいです。 | ・学校が取り組んでくれていることを家庭でも把握し、子どもに話していけたらより充実していくのかと思います。<br>・計画的に行う避難訓練の実施で子どもたちが主体的に身を守ることの学習ができたと思います。 | ・今年は夏祭りや防災教室は出来なかったが、またこれから地域の方との交流の場を積極的に活用し関りを大事にしていきたい。<br>・地域とのつながりも良く、地域に根付いた学校だと思います。 |
| 次年度に向けての改善方法に対する意見 | ・少人数対応である特性を活かし、特に低学年中に学力の基礎をしっかり付けていけるようにしてほしい。国語、読み書き、数字に関しても筆順から徹底できるチャンスでもある。とめ、はね、はらう、忍耐はいるが何度も反復することで刷り込み学習をし身につけていく、努力する力、継続する力の素となると思う。 | ・ドッジボールやバレーボールなど団体競技をすることにより仲間意識や協力することの大切さを学びいじめ問題にもつながると思う<br>・多くの体験をし、心豊かに育っていくことを願います。<br>・他人を思いやる心を育つ取り組みをお願いしたい。また、子どもたちも地域の一員であることを自覚する取り組みをお願いしたい。<br>・放課後や休みの日でも責任ある行動をとれるよう教えていただきたい。 | ・家庭がそれぞれであっても正しい生活習慣が身についていける取り組みを日々継続していただきたい。<br>・生活調べの機会を増やすとともに、親子で取り組めるようにお願いしたい。訓練には様々な工夫をし続けていってもらいたい。 | ・「学校だより」を配布することにより、学校・家庭・地域がつながるので今後も続けてほしい<br>・これからも積極的な情報発信に努め、より多くの方々に開かれた学校になるように努めていただきたい。そして、活気ある学校を希望します。 |

3　その他のご意見

・共育コミュニティ推進事業（子どもセンター事業等）を通じて、色々なことを体験することで豊かな心が育むと思う

・日々の生活の多忙が重なり、家庭での親子間の希薄さが目立つ児童も少なくない中、どうすれば保護者が児童や学校に関心を持ち、関わり、ふれあいを多くできるのか、そんな中でも大切な「ルールを守る」時間や物事の区切りをしっかりと身につけることが規則正しい生活を送ることにつながり、心と身体のバランスの育成にも大きく影響されると思われる。我々大人は、常に何ができるだろう、どうしていけばいいのだろうと模索し試行錯誤していかなければならない。